

こんにちは！厚高です

平成26年度が終わりました。『よき市民、よき社会人を育てる』の学校教育目標のもと、「小さいけれどあたたかい学校」「落ち着いた環境の中で、一人一人の個性を大切にした教育をおこなう学校」をスローガンにして、さまざまな教育活動を行ってきた1年でした。

そんな1年間を振り返り、平成26年度の進路状況、資格取得状況、主な部活動成績をお知らせします。加えて、平成26年度の主な行事をご紹介しますと思います。

進学・就職ともに大いに健闘する！

今年の進路状況についてですが、進学と就職の比率は、過去5年間の平均とほぼ同じ、3分の1が進学、3分の2が就職という状況です。

進学では4年生大学が2名、短大が2名、専門学校が6という内訳ですが、その中でも室蘭の日鋼記念病院附属の高看学校への入学がありました。

就職では、トヨタ自動車や苦東

備蓄、日本製紙などの大手企業に加え、農協や北海道銀行・苫小牧信用金庫の2行へ就職が決まるなど健闘が光りました。その背景には、景気の回復という社会情勢以上に、早い段階からの準備と試験対策が実を結んだといえます。

資格取得 今年も順調！

厚真高校では資格取得を奨励しており、多くの生徒が将来に備え、いろいろな資格に挑戦しています。これを手助けしていただいているのが、厚真高校教育振興会で

す。各種検定料の助成をいただいたり、長期休業中の講習会や見学会等も充実することが可能になっています。

地区大会3連覇！

女子テニス大塚さん

本校テニス部に所属する大塚鈴菜さんが、今年も室蘭支部テニス大会女子シングルスにおいて優勝しました。これにより、1年生での優勝から3年間、胆振地区全大会で無敗という快挙を成し遂げました。過去の記録では、男子の3

連覇はあるものの、女子の3連覇は史上初の快挙です。

また、写真部では、下川原美希さんの作品『早くちようだい』が全道大会で佳作に選ばれるなど、躍進を遂げました。

その他にも、多くの新入生が入部し活気づき熱心な活動が続いているバドミントン部や、地域・施設等と連携しながら社会・地域貢献を行っているボランティア部が、地道な活動で大きな成果をあげました。



進路状況一覧

【進学(10名)】

酪農学園大学農食環境学群、北翔大学学部生涯スポーツ学部、國學院大学短期大学部国文学科、光塩女子短期大学食物栄養科、日鋼記念病院看護学校、札幌放送芸術専門学校タレント総合学科、札幌青葉鍼灸柔整専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道介護専門学校、北海道ハイテクノロジー専門学校

【就職(21名)】

とまこまい広域農業協同組合、新日本海フェリー株式会社苫小牧、自営(農業)、苫東石油備蓄株式会社、苫小牧信用金庫、トヨタ自動車北海道、株式会社苫食、社会福祉法人ふれんど、日本製紙株式会社北海道工場、丸吉運輸機工株式会社、大成産業株式会社、北海道バルブメンテナンス株式会社、栗林港湾倉庫株式会社、株式会社ヤマダ電機、有限会社三昇、日本製紙北海道紙工株式会社、北海道銀行

資格取得人数一覧

【ワープロ検定】 2級2名、準2級6名、3級12名
【情報処理検定】 2級10名、3級17名
【簿記能力検定】 2級4名、3級7名
【電卓能力検定】 2級1名
【日本漢字能力検定】 2級1名、準2級4名、3級7名
【実用英語能力検定】 3級3名
【危険物取扱者】 乙種4類3名、丙種2名

部活動成績一覧

【野球部】

●春季高校野球大会支部予選
1回戦 対静内 0対10で負け
●全国高校野球選手権大会室蘭支部
1回戦 対浦河 3対11で負け

【テニス部】

●室蘭支部高等学校春季テニス大会
女子シングルス…3年 大塚鈴菜 (優勝)
●高体連室蘭支部テニス選手権大会
女子ダブルス…大塚・森谷 (5位) →全道出場
女子シングルス…大塚 (優勝) →全道出場 (ベスト8)

●国民体育大会テニス予選大会

女子シングルス…大塚 (優勝) →全道大会出場

【バドミントン部】

●第66回北海道バドミントン選手権大会苫小牧地区
男子シングルス…高橋 (3回戦)
女子シングルス…折坂 (3回戦)
●第48回全国高校選抜大会
男子シングルス…柳田 (ベスト16)

【写真部】

●平成26年度北海道高文連苫小牧支部写真展
優秀賞 2年下川原 → 全道大会出品
奨励賞 3年岩崎、小野

【4月】 入学式(9日)

期待と不安の混じる中、新しい制服に身を包んだ32名の新入生が入学しました。今年度の入学生の出身地は、厚真町が4名、安平町9名、苫小牧市18名、管外1名です。2・3年生と合わせて総勢90名の生徒で今年度がスタートしました。



●PTA総会・参観授業・情報モラル講座(26日)

PTA総会にあわせて3学年それぞれ授業を見学していただきました。いずれも教師と生徒の間でのコミュニケーションを通しての楽しい雰囲気の中での授業が行われており、厚高ならではの授業でした。午後は北海道情報専門学校から講師をお呼びして情報モラル教室を行い、昨今のネット上のさまざまなトラブルの実例について学びました。

【5月】 ●高体連壮行会・各種大会

5月は高体連や野球大会の季節。本校の運動系部活動は現在、野球、テニス、バドミントンの3つです。それぞれの部員が毎日遅くまで熱心に練習しています。そ

のような中、女子テニスでは、3年生の大塚さんが地区大会3連覇の偉業を達成し、新聞などでも大きく取り上げられました。生徒会執行部を中心とする急造応援団が、選手たちを激励しました。



●施設実習(7日、21日、28日)

3年生の「生活福祉基礎」という選択授業の一コマです。「施設訪問」や「地域高齢者との交流実習」があります。

この実習を通して、福祉について学び、他者への思いやりの心を育てようと考えています。



施設実習

●学校連携事業(13日)

厚高は苫小牧東高校と連携しています。国語で週2回、数学で週2回、苦東の2名の先生が本校に出張授業に来てくれています。授業だけではなく生徒の交流もあります。この日は本校の生徒会役員が苦東を訪問し、苦東の生徒会役員と交流してきました。

●1年生職業講話(27日)

専門の外部講師をお招きし、1

年生の職業講話を実施しました。厚真高校は3年生の職場体験学習を柱として、3年間を通してキャリア教育を充実させています。自らの体験・経験や外部講師のお話を聞く機会など、通常の授業では身につけることのできない力を身につけることができます。就職希望者も進学希望者も、将来の職業について真剣に考える機会となりました。

【6月】 ●防災避難訓練(4日)

火災を想定した防災避難訓練を行いました。消防署の職員の指導のもと、避難訓練と消火訓練を行いました。訓練は、逃げるのが目的のすべてではなく、「日頃から防災の意識を持つこと」が大きな目的のひとつです。生徒たちは真剣に取り組んでいました。

●花壇づくり(17日)

1年生が入学記念行事として、玄関前に花壇をつくりました。PTA行事の一環ともなっており、来校いただいた保護者4名とともに花を植える作業を行いました。

今年の花文字は「HAPPY」です。今年の1年



生の明るい雰囲気と合っています。玄関前がぐっと華やいだ雰囲気になりました。

●田舎まつりパレード(21日)

恒例の、あつま田舎まつりのパレードに参加しました。あゆみ会の方々に何度も学校に来ていただいたり、踊りの練習や浴衣の着付け指導などをしていただき、当日の踊りに参加しました。



今年は厚真高校教育振興会から法被を新規購入していただき、昨年までとは違った厚高をお見せすることができました。

●体験談を聞く会(21日)

就職や進学をした卒業生の体験談を聞く会を行いました。現役大学生や、専門学校を卒業したあと厚真リハビリセンターで勤務する方、卒業後すぐに就職し即戦力として社会で活躍している方など、さまざまな立場から後輩に貴重な話をしてくれました。

●職場体験学習(17・19日)

3年生全員の職場体験学習を行いました。これは、事業所での職業体験を通して労働の喜びや厳しさを学ぶことにより、自己の能力や適性を知り、地域社会との連携

を深めながら、社会生活に適応した望ましい職業観と勤労観を育成することを目的として毎年実施しているものです。実習をお引き受けいただきました17事業所の皆さん、ご協力ありがとうございました。



●野球部全校応援(23日)

夏の高校野球大会の全校応援を実施しました。相手は、強豪浦河高校。残念ながら試合は3対11で負けてしまいましたが、急造応援団を中心として全校生徒の熱い応援を受け、野球部員9名とマネージャー2名は必死に戦ってくれました。



野球部員は、少ない人数ながらもしっかりと鍛え上げた技術とキビキビとした動きを見せてくれました。全校生徒と教職員が一体となつて自校を応援することの素晴らしさを実感させてくれた野球部に感謝します。

●全校企業見学（23日）

野球の全校応援終了後、全校生徒がバスで地域の企業見学に行きました。希望者ごとに二手に分かれ、地域を代表する企業である王子製紙苫小牧工場と厚真火力発電所を見学しました。

本年度初の実施となった全校企業見学。地元の大手企業を見学することができ、本校のキャリア教育をますます充実させることができました。

●地域と連携した実習授業（26～27日）

3年生の選択授業「フードデザイン」で、厚真町の地域おこし協力隊で特産品開発支援員として活躍する高田真衣さんを講師としてお招きし、自家製酵母を用いたパン作り実習を行いました。町との連携、地域人材の活用という意義ある取り組みであり、体験的な学習を重視する本校ならではの実践です。普段食べたことがない味のパンが出来上がり、大変貴重な体験をすることができました。

【7月】

●学校祭（11～12日）

最大の生徒会行事である学校祭が2日間にわたって行われました。オープニング企画である生徒会制作の映画上映に続き、各クラスのステージ発表が行われ、体育

館は大いに盛り上がりました。

台風接近による強風を案じて花火は中止しましたが、予定を変更して復活させたグラウンドでのジングスカンでは、地元の味に舌鼓を打ちました。翌日のバザーも20名もの保護者のご協力で大成功！。思い出深い2日間となりました。



●性教育講演会（24日）

王子総合病院産婦人科の津野靖子副主任を招き、性教育講演会を行いました。男子・女子に分かれて2展開で行い、異性を大切にすることを実感を持って学ぶことができました。

【9月】

●防災教育講演会・NHKテレビ放送会（9日）

東京大学教員で厚真町防災アドバイザーの定池祐季先生をお招きし、防災教育講演会を実施しました。「クロスロード」という防災ゲームによる体験的な実習を通して、考えながら防災について学ぶ内容となっており、1年生32名が受けました。

当日の様子は、9月18日のNHKテレビでも放映されたほか、北海道新聞、北海道通信でも記事掲載されました。

載されました。

●交通安全教室（17日）

苫小牧警察署の村田典繁係長、厚真駐在所の保里敬所長、厚真交通安全推進委員の土居和一さんをお招きし、交通安全教室を行いました。車載カメラでの事故の瞬間の映像を見るなど、交通安全の大切さを実感する内容でした。

●強歩大会（19日）

恒例の強歩大会が行われました。18・6kmという長い行程を走る（歩く）、心身ともにハードな大会です。



12名の保護者の皆さんや警察の職員の方々にもお手伝いいただき、途中の降雨に見舞われながらも、無事故なく実施することができました。

【10月】

●防災避難訓練（2日）

本年度第2回目の防災避難訓練が行われました。今回は地震と火災を想定した訓練で、避難後には消防署職員の指導による救助袋による避難訓練（2年）、負



ムによる対抗形式で行いました。午後からは、生徒会執行部の劇の後、カラオケや弾き語りなど5組が個人発表をしてくれました。生徒会執行部作成の「思い出のスライドショー」をはさみ、全校生徒による「コスモス」の合唱、そして1・2年生による「旅立ちの日に」を合唱し、3年生にプレゼントしました。胸が熱くなる素晴らしい歌声が体育館いっぱいに広がりました。

【1月】

●高齢者交流授業（21日）

本年度最後の高齢者交流授業（3年生生活福祉基礎）が行われました。場所は、本郷マナビイハウスです。



この日は、歌に合わせて歌詞を手話で表現するというものでした。同授業の中で手話を学んで身に付けたものを披露し、拍手喝采を浴び、なんと想定外の「アンコール」が、2回目は皆さんも一緒に手話をまねていただきましたがらの披露となりました。

●合格体験発表会（27日）

3年生の進路決定者による合格体験発表会が行われました。進学、就職の2つのグループに分かれて

傷者の搬出訓練（1・3年）を行いました。

本校はともいきの里と隣接しています。いざとなったら高校生は強力な戦力だということを意識してもらいたいものです。

●屋外スポーツ大会（7日）

好天の中、屋外スポーツ大会としてソフトボール大会が行われました。8チームが試合を行い、3年生のチームが優勝しました。お互いに冗談を言いながらの和気あいあいとしたムードの中、楽しく試合をしました。



●中学生1日体験入学（10日）

今年度の1日体験入学を実施しました。参加者は中学生40名、保護者10名、引率教員が8名でした。写真や動画を使つての学校紹介、生徒会の生徒による学校紹介の後、「ひらがなとカタカナの話（国語）」、「カレンダーの数学（数学）」、「英語で遊ぼう！（英語）」、「マツト運動（体育）」、「かんたんテイルミスづくり（家庭科）」、「ホームページ作成実習（情報）」という体験授業を選択を受けてもらいました。

非常に落ち着いた生徒さんたちばかりで、いい雰囲気の中で楽し

体験を発表してくれました。

後輩たちには大きな勉強となったことでしょう。

【2月】

●厚真町ランタン祭り（7日）

厚真町のランタン祭りとスターフェスタが行われました。本校は、生徒会執行部が協力し、こぶしの湯の斜面にデザインをしました。

●宿泊研修（8～10日）

1年生が、日高青少年自然の家を会場に2泊3日の宿泊研修を行いました。一昨年から、この時期にスキー学習を中心として行われるようになったこの研修。多くの生徒は生まれて初めてのスキー体験です。

初日の午後からさつそくスキーに挑戦し、2日目は終日グレンデスキーです。グループに分かれ、インストラクターの指導を受けました。最初は転んでいた生徒も、やがてどんどん滑れるようになってと生き生きとして斜面を滑り降りてきました。



【3月】

●卒業式（1日）

第36回卒業式が行われました。

く授業を体験していただくことができました。

●2年生見学旅行（14～17日）

2年生が見学旅行に行きました。台風接近で実施が危ぶまれる中、なんとか台風の側方を抜ける形で飛行機が飛び、現地ではいずれも天候に恵まれ、事故もなく、被爆地である広島、古都の奈良・京都、近代的な都市の大阪のそれぞれの場所ですっかりした見学・研修を積むことができました。

●1年生工場見学（14日）

1年生が工場見学を行いました。6月には全校工場見学を行いました。今回は1学年のみでの実施です。見学したのは、いずれも札幌市の、雪印メグミルク札幌工場と日糧製パン月寒工場の2カ所です。

厚真高校振興会からの予算でバスをチャーターして、丸一日の行程で見学しました。北海道らしい大きな工場の見学で、職業について深く考える機会になったことと思います。

●3年生ドライバーズセミナー（17日）

3年生がドライバーズセミナーを行いました。日高町の富川自動車学校に3年生全員が行き、自動車学校職員、消防組合職員、警察

宮坂厚真町長以下、多数のご来賓や関係者、保護者の皆様にご参列いただき、盛大に式を行うことができました。ありがとうございました。

本校の卒業式は、非常に伝統的なタイプの卒業式です。昨今は、予餞会の要素を入れ込んだような、さまざまな形態の卒業式が行われることが多くなりましたが、本校は他校ではあまり行われなくなってきた「3年生を送る会（三送会）」を別日程で実施しているため、卒業式自体は伝統的な厳かな形式で行っているということです。

伝統的な形だからこそその良さというものが伝わってくる、素晴らしい卒業式だったと思います。



★この他にも、厚高は多くの教育活動を実践しています。学校ホームページでも数多くの内容を掲載していますので、ぜひご覧ください。1年間、広報「あつま」の厚高インフォメーションのコーナーをご覧ください、ありがとうございます。



【11月】
●手話授業（5日）

11月5日から5週間にわたり、官等による講義（事故の実態と交通社会人としての責任）や実技救急講習、飛び出し、内輪差、シートベルト、コーナリング）を通して自動車の特性や危険予測について学び、交通ルールとマナーを理解しました。

●どさんこ子ども会議（25日）
胆振地区の小・中・高校の児童会・生徒会の子どもが集まり、いじめ撲滅を目的として「どさんこ子ども会議」が開催されました。本校からは小川大広生徒会長が参加しました。

後日、胆振教育局の職員から「厚真高校は非常に素晴らしい生徒がいますね」と高い評価をいただきました。

●2年生大学見学（酪農学園大学）（31日）
2年生の大学見学を行いました。見学したのは、本校卒業生も進学している江別市の酪農学園大学です。

厚真高校振興会からの予算で、バスで丸一日かけて見学しました。模擬授業を体験したり施設を見学したりと、高校とは全く違う学生生活を実感してきました。